

波多野乾一 (徳大) 評論家。明治二十二年十一月二十一日大分縣大分郡野津原村生れ（一九〇一）。號芥原廬、筆名榛原茂樹。大正九年東亞同文書院政治科卒。大阪朝日新聞入社、四年北京留學。その後「東京日日新聞」論說委員、「大阪毎日新聞」北京特派員、「北京新聞」主幹を経て、十二年「時事新報」北京特派員、昭和二年同論說委員。七年以降外務省情報部、興亞院大東亞省各騰誌、「世界日報」論說委員を歴任。戦後「産業經濟新聞」論說委員、同調査室長の他、アジア政経學會、東方文化學會各理事を務めた。支那通として知られた。

著書、「支那劇とその發展」（大正十四年二月二十日新出版社）、「麻雀精通」（榛原茂樹名、改訂版・昭和六年二月二十日春陽堂）、「支那の知識」（合著、清澤潤・室伏高信編、昭和十二年八月十日青年書房「時局知識シリーズ」）、「現代支那の政治と人物」（昭和十二年八月二十日改造社）、「三澤東一中共と担ふ人々」（昭和二十四年一月二十日福地書店）等。

